

# 2024 年度 道路貨物運送業ランキング 増収企業は約 7 割

収入高トップはランテック

## 福岡県の道路貨物運送業者の実態調査(2024 年度)



本件照会先

秋山進(調査担当)

帝国データバンク

福岡支店情報部

092-738-7779(直通)

tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/12/26

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2024 年度の福岡県の道路貨物運送業・収入高ランキングは、(株)ランテック(福岡市博多区)が首位。2 位は久留米運送(株)、3 位は池田興業(株)で、いずれも運賃改定や物流効率化が奏功した。収入高 10 億円以上の174社では、増収企業は67. 2%を占め、約7割となった。本社エリア別では「福岡市」の増収比率が最も高かった。利益面では比較可能な142社のうち増益は 88社(構成比61. 3%)。黒字は125社(同88. 0%)となり、規模が大きい企業ほど収益面で安定する傾向がみられた。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS2」(約 150 万社収録)から、福岡県に本社を置き、道路貨物運送業を展開する企業のうち、2024 年度(2024 年 4 月期～2025 年 3 月期)の業績が判明し、かつ、収入高が 10 億円以上となった 376 社を抽出。売り上げや利益の動向について分析した。

## 収入高ランキング(2024年度)

### 収入高ランキング（2024年度）

順位	商号	所在地	決算期	収入高 (百万円)	前年度比 収入高伸び率
1	(株)ランテック	福岡市博多区	3	68,596	6.9%
2	久留米運送(株)	福岡県久留米市	3	47,073	3.7%
3	池田興業(株)	北九州市門司区	3	34,713	2.5%
4	九州西濃運輸(株)	福岡市博多区	3	31,017	▲1.4%
5	福岡運輸(株)	福岡市博多区	3	27,845	13.0%
6	(株)MLS	福岡市東区	6	18,500	8.8%
7	三友通商(株)	福岡県筑紫野市	3	17,624	2.6%
8	九州福山通運(株)	福岡市博多区	3	15,800	▲1.3%
9	西久大運輸倉庫(株)	福岡市東区	3	13,197	3.1%
10	(株)博運社	福岡県糟屋郡	12	11,834	4.1%

福岡県の道路貨物運送業の経営業者174社(収入高 10 億円以上)の 2024 年度の収入高ランキングを見ると、(株)ランテック(福岡市博多区)がトップとなった。当期は定温輸送における設備面の優位性や整備された拠点網を生かした物流の総合提案によって、引き続き大手食品メーカーから安定した受注を確保できたほか、ドライバーの人工費上昇に対して、適正料金施策を実施してきたことで受注単価は前期に比べ増加し、部門収入は前期比増となった。また、倉庫業など運送以外の部門は、運送部門の受注拡大に伴って、付帯業務(商品管理やピッキング作業)の受注も増えた。更に、保管料なども運賃の増加に伴い価格が上昇し、同部門の収入高も前期実績を上回った。以上により年収入高は前期比6.9%増となった。

2 位は久留米運送(株)(福岡県久留米市)。運送事業では2024年問題の対策として長距離輸送の物流拠点見直しを受け、受注量は増加した。また、運賃改定についても2,882社の顧客に値上げを実施できしたことから、同事業は前期を上回った。倉庫事業は、料金の改定に加え、総合物流事業として冷凍冷蔵、3P Tとの組み合わせで、顧客の望む保管方法を提案し、対応量が増加したことから增收となった。両部門で增收となったことから、年収入高は前年度比3.7%増となった。

3 位は池田興業(株)(北九州市門司区)となった。物流センター(倉庫)は、得意先の物流ニーズを柔軟に対応できるよう集荷(入庫)から出荷(納品)まで一貫して管理する物流管理システムを導入している。得意先のビジネスニーズにリアルタイムで応対できる「ロジスティックターミナル」として国内外を問わず機能することが可能。2024年問題と環境対策等を重点課題として労働時間の上限規制に対応しつつ、運送契約の見直しと営業活動により生産性の向上を図り、年収入高は前年度比2.5%増となった。

## 業績動向

### エリア別の収入高推移

本社エリア	増収	構成比	減収	構成比	横ばい	構成比	合計	構成比
福岡市	36	81.8%	5	11.4%	3	6.8%	44	25.3%
北九州市	25	80.6%	5	16.1%	1	3.2%	31	17.8%
久留米市	5	62.5%	2	25.0%	1	12.5%	8	4.6%
その他	51	56.0%	28	30.8%	12	13.2%	91	52.3%
合計	117	67.2%	40	23.0%	17	9.8%	174	100.0%

福岡県全体の「増収」企業は67.2%と約7割。本社エリア別の収入高推移では「増収」比率が最も高かったは「福岡市」で81.8%。続いて「北九州市」。一方、「減収」比率が高かったのは「その他」の30.8%がトップ。「久留米市」が25.0%で続いた。

### 年商区分別の利益推移

年商区分	増益	構成比	減益	構成比	合計	黒字	構成比	赤字	構成比	合計
500億円以上1000億円未満	1	100.0%	0	0.0%	1	1	100.0%	0	0.0%	1
100億円以上500億円未満	10	83.3%	2	16.7%	12	11	91.7%	1	8.3%	12
50億円以上100億円未満	5	41.7%	7	58.3%	12	10	83.3%	2	16.7%	12
10億円以上50億円未満	71	60.7%	46	39.3%	117	103	88.0%	14	12.0%	117
合計	87	61.3%	55	38.7%	142	125	88.0%	17	12.0%	142

直近2期(2023～2024年度)の損益比較が可能な142社の年商区分別での増減益状況をみると、「増益」企業は87社で構成比は61.3%、「減益」企業は55社で同38.7%の比率となった。「増益」比率が高いのは「500億円以上1000億円未満」が100.0%(1社)、「100億円以上500億円未満」の83.3%(10社)。対して「減益」比率が高いのは「50億円以上100億円未満」の58.3%(7社)、「10億円以上50億円未満」の39.3%(46社)となった。

利益状況をみると、「黒字」企業は125社で構成比は88.0%、「赤字」企業は17社で同12.0%の比率となった。「赤字」比率が高いのは「50億円以上100億円未満」の16.7%(12社)、「10億円以上50億円未満」の12.0%(14社)となった。

## まとめ

2024 年度の福岡県の道路貨物運送業界は、いわゆる「2024 年問題」への対応が本格化するなかで、運賃改定や業務効率化を進めた企業と、コスト上昇を十分に転嫁できなかった企業との間で業績の差が一段と鮮明となった。今回、収入高 10 億円以上の運送業者174社を対象に 2024 年度の経営動向を分析したところ、全体としては増収・黒字企業が過半を占めたものの、規模や地域によるばらつきも目立つ結果となつた。

収入高ランキングでは、(株)ランテック(福岡市博多区)がトップとなった。同社は定温輸送における設備面の優位性や全国に整備された拠点網を生かし、食品メーカー向けを中心に安定した受注を確保。ドライバー人件費の上昇に対しても適正料金施策を進めたことで受注単価が上昇し、運送部門は前期比増収となつた。加えて、倉庫業など運送以外の部門でも、運送受注拡大に伴う商品管理やピッキング業務の増加、保管料の見直しが奏功し、年収入高は前期比6.9%増となった。2位は久留米運送(株)(福岡県久留米市)で、長距離輸送の見直しによる受注増や、2800社超の顧客に対する運賃改定が寄与し、年収入高は同3.7%増。3 位の池田興業(株)(北九州市門司区)も、物流管理システムの高度化や契約条件の見直しにより生産性を高め、同2.5%の増収を確保した。

福岡県の「増収」企業比率は約67.2%で約7割。本社エリア別にみると、「増収」企業の割合が最も高かったのは「福岡市」(81.8%)で、北九州市(80.6%)が続いた。一方、「減収」比率が高かったのは「その他」(30.8%)、「久留米市」(25.0%)。

利益面では、直近2期(2023~2024年度)の比較が可能な142社のうち、「増益」企業は87社(構成比61.3%)と約6割となつた。年商規模が大きいほど増益比率が高い傾向がみられ、100億円以上の企業では価格転嫁や効率化が進んだ一方、100億円未満の企業では減益も目立つ。また、142社を対象とした利益状況では、「黒字」企業が125社(同88.0%)に達したもの、100億円未満の企業層では赤字比率が相対的に高く、規模による経営体力の差が浮き彫りとなつた。

2024年度の福岡県の道路貨物運送業界は、運賃是正や付加価値提案に成功した企業が堅調に推移した一方で、コスト上昇を吸収できない中小企業では収益面の課題が残つた。今後も人手不足や環境対応への投資負担は続く見通しであり、適正運賃の定着や業務効率化の進展が、中長期的な競争力を左右する重要な要素となりそうだ。

## 収入高ランキング(2024年度)上位50社

順位	商号	所在地	決算期	収入高 (百万円)	前年度比 収入高伸び率
1	株式会社ランテック	福岡市博多区	3	68,596	6.9%
2	久留米運送株式会社	福岡県久留米市	3	47,073	3.7%
3	池田興業株式会社	北九州市門司区	3	34,713	2.5%
4	九州西濃運輸株式会社	福岡市博多区	3	31,017	▲1.4%
5	福岡運輸株式会社	福岡市博多区	3	27,845	13.0%
6	株式会社MLS	福岡市東区	6	18,500	8.8%
7	三友通商株式会社	福岡県筑紫野市	3	17,624	2.6%
8	九州福山通運株式会社	福岡市博多区	3	15,800	▲1.3%
9	西久大運輸倉庫株式会社	福岡市東区	3	13,197	3.1%
10	株式会社博運社	福岡県糟屋郡	12	11,834	4.1%
11	福岡運輸システムネット株式会社	福岡市博多区	3	11,436	1.3%
12	福岡倉庫株式会社	福岡市東区	12	10,243	4.2%
13	九州航空株式会社	北九州市小倉北区	3	10,067	3.8%
14	九州名鉄運輸株式会社	福岡県糟屋郡	3	9,030	11.1%
15	高千穂倉庫運輸株式会社	福岡市東区	3	8,227	2.3%
16	西鉄運輸株式会社	福岡市博多区	3	7,888	3.6%
17	株式会社アイヌライン	福岡県築上郡	10	6,600	10.2%
18	大翔トランSPORT株式会社	福岡市東区	12	6,180	0.1%
19	太田運輸株式会社	福岡県朝倉郡	6	6,079	4.6%
20	株式会社九州丸和ロジスティクス	福岡市東区	3	5,887	4.0%
21	株式会社三友ロジスティクス	福岡県筑紫野市	3	5,544	▲10.0%
22	株式会社NSロジ西日本	北九州市八幡東区	3	5,532	13.2%
23	博多運輸株式会社	福岡市博多区	3	5,377	7.4%
24	高光産業株式会社	福岡市博多区	4	5,300	3.9%
25	株式会社柳川合同	福岡県柳川市	3	5,069	4.2%

26	大成運輸株式会社	福岡県宮若市	3	4,870	25.4%
27	大成運輸株式会社	福岡県宮若市	3	4,870	25.4%
28	九州商運株式会社	福岡市東区	4	4,854	0.6%
29	フェリックス物流株式会社	北九州市門司区	3	4,825	15.1%
30	福岡トランス株式会社	北九州市門司区	4	4,204	▲9.9%
31	内田運輸株式会社	福岡市博多区	6	4,079	3.2%
32	小倉運送株式会社	北九州市小倉南区	3	3,900	2.6%
33	株式会社システムライン	福岡県糟屋郡	5	3,879	5.8%
34	株式会社ゼロ・プラス九州	福岡市東区	6	3,714	3.5%
35	豊運輸株式会社	福岡県糟屋郡	5	3,697	▲0.0%
36	株式会社デイオ一運輸	福岡県行橋市	5	3,500	1.4%
37	吉浦運送株式会社	福岡市中央区	12	3,430	5.6%
38	株式会社ロジネットジャパン九州	福岡市中央区	3	3,424	14.5%
39	株式会社九倉	北九州市門司区	6	3,330	▲2.2%
40	三和陸運株式会社	福岡県糸島市	2	3,300	10.7%
41	駿和物流株式会社	福岡市東区	12	3,265	1.7%
42	司福岡株式会社	福岡県宮若市	5	3,200	0.0%
43	西日本急送株式会社	福岡市東区	12	3,072	0.4%
44	株式会社サンキュウ・トランSPORT・九州	北九州市小倉北区	3	3,000	▲6.3%
45	株式会社ジョイックス	福岡県小郡市	9	2,926	5.9%
46	株式会社リュウセイ	福岡市中央区	8	2,920	16.8%
47	株式会社西博運輸	福岡県宗像市	12	2,896	17.1%
48	株式会社サンキ	福岡県田川市	8	2,888	3.6%
49	西田商運株式会社	福岡県糟屋郡	2	2,871	▲5.9%
50	九州産業運輸株式会社	北九州市門司区	3	2,770	2.6%